

神奈川県立小田原東高等学校 令和7年度 第2回学校運営協議会 記録

開催日時 令和7年10月7日（火）15:40～17:00

開催場所 小田原東高等学校 会議室

議事録

1 開会挨拶

2 校長挨拶

- ・協議会委員の皆様には本日の出席と日頃の支援に感謝します
- ・行事は体育大会と文化祭が無事終了
- ・3年の進路は就職試験、総合型選抜や推薦入試に向けて取り組み中
- ・2月の入学者選抜に向けて準備
- ・白鷗中学との相互の授業参観は貴重な機会であり、中高の連携は大切
- ・山口で行われた全商の総会に出席
- ・カリキュラムが2巡目に入り次期へ向けて検討
- ・本日は忌憚のないご意見をお願いしたい

3 報告事項

令和7年度学校評価報告書（中間報告）について（各グループより）

① 運営グループ

- ・今年度の体育大会とスポーツ大会の給水サポートは実施しない
- ・10月28日に成人教育委員会の講演会を実施予定
- ・火災想定避難訓練は10月30日（木）から11月11日（火）に変更

② 学習グループ

- ・教育課程の見直しを行い、多様な進路に対応
- ・生徒による授業評価の項目6・7の結果から、発表の機会を増やす必要
- ・後期（12月実施）の結果については後日まとめて報告

③ 進路グループ

- ・就職試験の結果はほとんど合格であり、現時点で41名内定
- ・優良企業に希望者出せず（横浜銀行、古河電工、第一三共など）
- ・Handyの活用により、保護者の意見と学校の指導に相違が生じた
- ・外国籍の生徒は就労に制限があるが、学校には国籍のデータがない

④ 生活グループ

- ・サポートドックの2回目を実施中、スクリーニングを進める
- ・「アウトリーチ相談支援事業」の指定2年目、食糧支援継続中
- ・データDVの事例について、解決に向け取り組み中

⑤ 特別活動グループ

- ・9月1日 地域貢献活動実施
- ・文化祭一般来場者数は1140名であり、昨年度より減少（他校やお祭りと重なった）
- ・文化祭では、PTAによる照明や警備員配置
- ・生徒会役員の選挙実施、新役員体制に向ける

⑥ 連携グループ

- ・全公立展（6月7日）の商業ブースでおでん石けん販売
- ・県立学校合同説明会（7月25日）により、一日体験入学（7月29日）の参加者増
- ・中学校教員向けの説明会（8月22日）は商業を理解してもらえる唯一の機会
- ・一日体験入学（7月29日）と学校見学ツアー（9月27日）は生徒がスタッフとなり運営に協力し、良い経験となった、今後も継続予定
- ・さがみ信金創立100周年事業産業まつり（9月13日）にボランティアスタッフ13名参加、吹奏楽部演奏

⑦ 専門学科商業

- ・情報処理競技大会で全国大会出場
- ・DXハイスクール事業でのレーザー加工機やVRゴーグルを活用予定
- ・酒粕利用の視点からの商品開発

⑧ 高校生ショップ城湯屋

- ・全公立展では小田原おでん石けんを販売
- ・生徒は地域との交流により、総合ビジネス科の生徒であることを実感した

4 質疑応答および意見収集

- ・7月30日の津波警報の際、東高校の職員の適切な対応に感謝
反省点をもとに 協議を重ねている状況
- ・ハザードマップ等によると、この地域は地形上危険ではなく垂直避難（2階へ）
- ・11月8日に小田原市一斉避難訓練・講習実施予定
自衛隊による炊き出し訓練（カレー）、給水タンクの移動訓練
- ・防災への関心を高めてもらう
- ・9月7日の敬老の日には本校吹奏楽部等にもりあげてもらった
- ・本校でもDIG訓練を実施、1年生は全員参加
神社に逃げるとよい、というアドバイスをもらっている（運営グループ）
- ・おでん石鹼はどんな香りか（ふつうの石鹼の香り）
- ・公私合同説明会来場者数130名は、他校と比べて賑わい具合はどうか
(もっと集客している学校もあった)
- ・学校説明会での生徒の協力は特定の層か、男女比はどうか
(地域交流委員、放送部、演劇部に声をかけている、男女比はほぼ半々)

- ・文化祭の警備員配置は安心感があった、それぞれのブースはチケット制か
(すべて現金制である)
- ・生徒による授業評価は教科ごとの偏差をだしているか
(教科ごとに算出していないが、どの教科も項目6と7が低い傾向であった)
- ・10月28日の講演会のテーマは決まっているか
(「親子で学ぶきっかけづくり」 PTA会長)
- ・PTA活動 入学=入会ではなく保護者の意思を確認している、現状7割程度入会
発行物はすべての生徒に渡しているが苦情が来ることもある。高校ではどうか
(入学者説明会で説明し、入会を促すが100%は難しく、毎年数名入会せず 副校長)
- ・PTA会費はいくらか (年間約4000円)
- ・白鷗中では、地震時はすぐに3階まで逃げる、生徒は折りたたみ式のヘルメットを机
にかけていて、どの教室にもヘルメットが常備されている。
- ・ナイフを所持した不審者が現れた際は、約50名の生徒が小学校別に別れて下校した
- ・授業公開は3年目となり、今後も続けてほしい
- ・部活交流も年間で多く参加させたい
- ・授業評価の数値が高いことから、先生方の頑張りがうかがえる
- ・校長面談の際に、東高校を希望している生徒がいる、自宅から近いこともあるが、資
格取得を目指しているので、頑張らせてほしい
- ・迷っている生徒は、東高校には自分が続けたい部活がないとのこと
- ・今後も交流を盛んに行いたい
- ・文化祭では協力ありがとうございました
- ・照明については数人の生徒が直接お礼を伝えてくれた
- ・進路グループの説明での、国籍についての問題は、入学時の書類に記載することはで
きないか (学校の判断ではなく、県教委の対応になる 副校長)
- ・DXハイスクール事業はものを買うだけでなく、取り組む過程が大切
- ・学校説明会での経験を共有し、次につなげることが大切

5 次回の開催予定について

- ・令和8年3月上旬予定、決まり次第連絡します

6 閉会の挨拶